

第 81 回スタディグループ分科会結果報告

運営委員長 村田耕治

(文責：栗田)

1. 開催日時 2019 年 11 月 14 日(木) 14 時 30 分～16 時 55 分
2. 開催場所 文京区民センター 3階3-D会議室
3. テーマ 「監査役と会計監査人についての考察」
4. 発表者
リーダー兼コーディネーター 日本鑄造(株) 常勤監査役 阿部 俊彦 氏
メンバー 王子ネピア(株) 常勤監査役 村田 耕治 氏
東京パワーテクノロジー(株) 常任監査役 松下 洋二 氏
兼松コミュニケーションズ(株) 常勤監査役 並木 雅史 氏
5. 出席者 32 名(含む発表者)、内 初参加者2名(特別聴講生)

6. 配布資料 1.発表内容(レジメ)
2.資料①会計監査人に対する監査役等の法的権限
3.資料②会計士監査との関係(1年間の流れ)
4.資料③会計監査人との連携に関する実務指針(一部抜粋)
5.資料④監査法人のローテーション制度について
6.資料⑤監査ビッグ4英国での解体論
7.資料⑥四大監査法人の最近の動き
8.資料⑦監査役と会計監査人との連携についてのアンケート
9.資料⑧有価証券報告書における開示事例
10.資料⑨KAM の概要
11.資料⑩独立監査法人の監査報告書及び内部統制監査報告書
KAM に相当する事項の報告事例(三菱ケミカルHD)
12.資料⑪会計監査人との連携を深めるためのヒント

7. 議事次第、質疑応答・意見交換

(前半 14:30～15:30)

- 1) 村田運営委員長から、開会挨拶及び初参加者2名の紹介がありました。
- 2) 次にリーダー兼コーディネーターの阿部氏よりチームメンバーの紹介、進行などについての説明があり、続いて資料①から③の説明がありました。
- 3) 続いて、村田氏より資料④の説明がありました。
- 4) 続いて、並木氏より資料⑤の説明がありました。
- 5) 続いて、松下氏より資料⑥の説明があり、前半を終了しました。

(後半 15:40～16:55)

- 1) 10 分間の休憩後再開し、後半は具体的事例として、並木氏及び各メンバーから資料⑦の説明がありました。
- 2) 続いて、阿部氏より資料⑧から⑩の説明がありました。
- 3) 締めくくりとして、阿部氏資料⑪の説明があり、各メンバーからこのワーキング活動を通じて感じたことと学んだことなどの発表がありました。
- 4) 16:30 ごろから質疑応答、意見交換などを行いました。

意見としては、

- ・監査役は自分の権限を自覚し、もっと自信をもって会計監査人と対峙すべきである。これから始ま

るKAM導入が会計監査人とのコミュニケーションを増やすチャンスである。(H氏)

- ・三様監査が求められている。三様監査連絡会のような形で、もっと会計監査人との情報交換を進めるべきである。(K氏)

などがありました。

質疑応答としては、

Q 親会社のある3社にお聞きしたいが、親会社の会計監査人による監査はあるのか？

A 3社ともに、親会社と同じ監査法人だが、親会社とは別契約を結んでおり、基本的には別チームが来る。親会社を担当しているチームが直接来ることはない。

Q 監査報酬の基準が分からず悩んでいる。単価については標準があるのでやむを得ないが、時間が適切かどうか分からない。

A 何に何時間使うかという計画を用いての検討、対前年比での検討などが有効ではないか。などがありました。

非常に活発な意見交換、質疑応答が行われ、予定時間どおり終了しました。

以 上